

学校名	浦添商業	高等学校	全日制	課程	企業システム・ITビジネス・国際観光
科目	英語コミュニケーションⅠ	シラバス	使用教科書	Amity English CommunicationⅠ	
副教材					Amity English CommunicationⅠ

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項 ○その単元において指導する事項					領域					
単元名(授業時間数)		言語活動	主な言語材料/働き	活動・パフォーマンス課題	聞くこと	読むこと	「書く」こと	話すこと	書くこと	
1学期	Get ready1～4		数字・文字・品詞	口頭発表(自己紹介/他己紹介)・活動用ワークシート・振り返り	○	○	◎		◎	
	Lesson1 The Beautiful Scenery	お気に入りの場所についてやり取りしたり、まとめたものを発表したりする。	be動詞・一般動詞の現在形	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り	○	◎		◎	◎	
	Lesson2 My Best Friend	日常生活についてやり取りしたり、大切にしている人についてまとめて発表したりする。	be動詞・一般動詞の過去形	ライティングワークシート・振り返り	○	◎	○		◎	
	Lesson3 Love For Dance	コンピュータの使い方や得意なことについてやり取りしたり、写真についてまとめて発表したりする。	進行形/助動詞	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り	◎		◎			
	Forcus+1	好きなスポーツ選手や好きな有名人についてやり取りしたり、自己紹介などをしたりする。	be動詞/一般動詞/進行形/助動詞	3ヒントクイズ	◎			◎		
	Lesson4 Endangered Species	動物に関することについてやり取りしたり、好きな生き物についてまとめて発表したりする。	不定詞	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り	○	◎	○	◎	○	
2学期	Lesson5 The History of Chocolate	健康や空いた時間についてやり取りしたり、写真を参考にして、自分の考えをまとめて発表したりする。	動名詞	ライティングワークシート・振り返り	○	◎	○		◎	
	Lesson6 Our School	好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり、学科やクラブについてまとめて発表したりする。	比較(原級・比較級・最上級)	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り	○	○	○	◎	◎	
	Forcus+2	好きな音楽や日常生活で楽しんでいることなどについてやり取りする。	不定詞/動名詞/比較	インタビュー活動・インタビューのワークシート・振り返り	○		◎			
	COMMUNICATE +1	買い物の場面で、客と店員とのやり取りをする。		ロールプレイ		○	◎			
	Lesson7 Serendipity	相手の生活や経験などについてやり取りしたり、セレンディピティについてまとめて発表したりする。	現在完了	インタビュー活動のワークシート課題	◎	○	◎			
	Lesson8 Sapeurs	服装や平和のシンボルについてやり取りしたり、大切なものについてまとめて発表したりする。	受動態	ライティングワークシート・振り返り	○	◎	○		◎	
3学期	Lesson9 Special Makeup Effects	好きな俳優や映画についてやり取りしたり、それらをまとめて発表したりする。	分詞の形容詞的用法	ライティングテスト(定期考査)	◎	○	○		◎	
	Lesson10 Clean Water	好きな飲み物や平和に寄与した有名人、将来の夢などについてやり取りしたり、水分の摂り方についてまとめて発表したりする。	関係代名詞	インタビュー活動のワークシート課題	◎	○	◎		○	
	Forcus+3	メールの内容やお気に入りの写真についてまとめて発表したり、「もしどこでもドアがあったら」というテーマでやり取りしたりする。	現在完了/受動態/分詞/関係代名詞/仮定法	アンケートメール		◎	○		◎	
	COMMUNICATE +2	道案内をする。		道案内活動・振り返り		◎	◎			
	tupera tupea	絵本の内容やおもしろかった点などについて、やり取りする。		絵本を読み取る		◎			○	

学校名	浦添商業	高等学校	全日制	課程	国際観光科
科目	論理・表現Ⅰ	シラバス	使用教科書	Amity English Logic and ExpressionⅠ	
			副教材	Amity English Logic and ExpressionⅠワークブック	

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項 ○その単元において指導する事項					領域				
単元名(授業時間数)		主な言語材料/働き	言語活動	評価の方法 パフォーマンス課題・定期テスト等	聞くこと	読むこと	「やりとり」 こと	「話すこと」 発表	書くこと
1学期	Pre-Lesson 1～4 身の回りにあるものの英語 いらいらな品詞 文の構造 文の成り立ちに文構造	4	中学校の既習事項 質問する、紹介する	英語を聞いて、好きなスポーツや科目などについて対話したり、自己紹介したりする。	インタビューテスト	○		◎	
	Lesson1 自己紹介をしよう	2	現在形 説明する 発表する	好きなことやものについて発表する。	英語で自己紹介・他己紹介をする	○		◎	
	Lesson2 昨日何をした？	2	過去形 説明する 発表する	過去の出来事について発表する。	中学校の思い出日記を書く		◎		◎
	Action！Part1友だちの好きなものを聞いてみよう	2	質問する 説明する 発表する	だちの好きなものについてインタビューし、その内容をまとめて発表する	インタビューを行いアンケート収集をする	◎		◎	
	Lesson3 今、何してる？	2	進行形 質問する 説明する	今していることや過去のある時点にしていたことについて対話する。	写真を説明する・英文を聞いて描写する	◎		○	◎
	Lesson4 花粉症ってつらい？	2	未来を表す表現 説明する 発表する	時間がたつと変化するものや今後の予定などについて発表する。	夏休みの予定を発表する	○			◎
	Scene 1 ファーストフード店に行こう	1	質問する 説明する 感謝する	ファーストフード店で多様な状況を想定して会話をする。	ファーストフード店のロールプレイを行う	○		◎	
	Break Time 1 Crossword Puzzle	1							
2学期	Lesson5 手伝ってくれる？	2	助動詞(may,can)説明する 手紙を書く	将来の自分に手紙を書く。	自分の学校の校則について説明書きを行う		○		◎
	Lesson6 浅草寺に行こう	2	助動詞(must,should)説明する 発表する	守らなければならないルールについて発表する。	世界の学校の校則について説明する	◎			◎
	Action！Part2富士山に登ろう	2	質問する 発表する	山登りの際の注意点について発表する。	英文を聞いてアドバイスする	◎		◎	
	Lesson7 漢字を学ぶ秘けつ	3	現在完了形(完了・結果・経験)説明する 発表する	過去に予定したこととその結果、これまでに経験したことについて発表する。	自分のこれまでの経験について発表する	○			◎
	Lesson8 秋葉原ってすごい	3	現在完了形(継続・現在完了進行形)説明する 手紙を書く	これまで継続してきたことやその様子を伝える手紙を書く。	しばらく会っていない人に手紙を書く		○		◎
	Step Up 1 プレゼンテーションをしよう	4	説明する 報告する 理由を述べる	自分が紹介したいものを考え、Show&Tellを行う。	沖縄の観光地についてプレゼンテーションを行う	○			◎
	Lesson9 お手製のパン	2	受動態 説明する 紹介する	好きな本や作品について発表する。	自分の好きな物について紹介文を書く		◎		◎
	Lesson10 ギネスに挑戦	2	比較(比較級・最上級)説明する 紹介する	友だちや家族について発表する。	アンケートを実施し、欠課を比較分析して発表する				◎
	Lesson11 大きなお弁当	2	比較(同等比較・最上級)説明する 紹介する	訪れたい国について、日本と比較した場合の特徴について対話する。	アンケートを実施し、欠課を比較分析して発表する				◎
	Action！Part3「いちばん」当てクイズを作ろう	1	質問する 説明する	オリジナルのクイズを作成し、クラスで発表する。	「一番当て」クイズを行う	◎		◎	
	Scene 2 道案内をしよう	1	質問する 説明する 感謝する	道案内でのいろいろな状況を想定して会話をする。	道案内を行う	◎		◎	
	Break Time 2 Tongue Twisters	1							
	Lesson12 アイドル最高！	2	動名詞 説明する 理由を述べる	好きなことについて、理由とあわせて発表する。	得意なことや好きなことをインタビューする	◎		◎	
	Lesson13 備えあれば	2	to不定詞(名詞的用法 It is ～to…)	将来の自分にとって必要なことについて、理由とあわせて発表する。	将来のために重要なことを議論する	◎			◎
	Step Up 2 パラグラフライティングをしよう	1	説明する	流れに合った英文を作る。	朝食を取ることは重要かについて意見文を書く		◎		◎
	Lesson14 何に使うもの？	3	to不定詞(副詞的用法・形容詞的用法)説明する 発表する	最近訪れた場所とその目的について対話する。	珍しい道具について紹介する	○			◎
	Lesson15 あの子は誰？	3	分詞(現在分詞・過去分詞)説明する 発表する	自分の友だちや家族、持ち物について、情報とあわせて発表する。	写真を説明する・英文を聞いて描写する	◎		○	◎
	Scene 3 おみやげを買おう	1	質問する 賛成する 申し出る	みやげ店での多様な状況を想定して会話をする。	お土産品店でのやり取りのロールプレイを行う			◎	
	Break Time 3 How to count in English	1							
	Lesson16 工場見学に行こう	2	関係代名詞(主格・目的格)	自分が考えた特別な製品や大切な持ち物について、その特徴を書いたり発表したりする。	あったらいいなと思う道具について文を書く		◎		◎
	Action！Part4日本のおみやげをプレゼントしよう	1	質問する 説明する	日本からのお土産について説明するスキットを演じる。	日本のお土産について紹介・質問する	○		◎	
	Lesson17 あの日の思い出	3	関係代名詞(what)説明する 発表する	興味があることや忘れられないことについて発表する。	興味があることや忘れられないことについて発表する	◎			◎
3学期	Lesson18 おすすめの旅行先	3	関係副詞 説明する 発表する	おすすめの場所や好きな月について、その魅力を発表する。	日本の観光地について説明する	◎			◎
	Step Up 3 ミニディバートをしよう	3	説明する 理由を延べる 主張する	国内旅行と海外旅行のどちらがよいかミニディバートを行う。	制服の是非についてディバートを行う	○	○	◎	○
	Lesson19 もしも私が…	3	仮定法過去 説明する 発表する	行ってみたい時代について、理由とあわせて発表する。	もしタイムスリップができれば何をするかを発表する	○			◎
	Lesson20 お出かけするなら？	2	接続詞 説明する 発表する	春休みに出かけるとよい場所について、理由とあわせて紹介する文章を書く。	沖縄旅行についての手紙に返信を書く		◎		◎
	Action！Part5 お悩み相談室	2	説明する 励ます	悩んでいる友だちへのアドバイスを書く。	悩みカードを読み、アドバイスを考える		◎		◎
	Scene 4 メールを書こう	2	質問する 説明する	いろいろな場面を想定してEメールを書く。	オンライン授業に関するメールを読み、返信を書く		◎		◎
	Break Time 4 English Riddles	1							

学校名	県立浦添商業高等学校	学科	企業システム・ITビジネス		
科目	英語コミュニケーションⅡ	課程	全日制	学年	2
使用許可書	Amity English CommunicationⅡ	単位	3		
副教材	Amity English CommunicationⅡWorkbook				

学習の到達目標				日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 2. 必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細や目的に応じて捉えることができる。					
				日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、 3. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 4. 必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。					
				日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、 5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 6. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。					
				日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、 7. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 8. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 9. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 10. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。					
3 期 制	配 当 時 数	課	タイトル	学習のねらい			評価の観点		
				言語材料	言語の働き・ 言語の使用場面	言語活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	2		GET READY	be動詞・一般動詞／主な文構造(5文型)／助動詞／名詞の複数形／代名詞／不定詞／動名詞／受動態／比較	説明する、報告する、描写する、理由を述べる、提案する、申し出る、許可する、推論する				
	14	1	Okinawa	be動詞・一般動詞の現在形の復習／助動詞の復習	質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ、話題を発展させる／旅行	沖縄についてやり取りしたり、旅行で行ってみたい場所について紹介したりする。	be動詞・一般動詞の現在形や助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介している。	be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介しようとしている。
	14	2	The History of Japanese Food	be動詞・一般動詞の過去形の復習／動名詞の復習	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する／食事	食事についてやり取りしたり、友だちの好きな食べ物について紹介したりする。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介している。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介しようとしている。
2 学 期	14	3	Volunteer Work	不定詞の復習／受動態の復習	質問する、理由を述べる、説明する、主張する／学校での学習や活動、地域での活動	ボランティアについてやり取りしたり、自分が参加してみたいボランティアについて書いて伝えたりする。	不定詞や受動態を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	不定詞や受動態を用いて、参加してみたいボランティアについて、理由や考えを書いて伝えている。	不定詞や受動態を用いて、参加してみたいボランティアについて、理由や考えを書いて伝えようとしている。
	14	4	Gacha-gacha	SV00の文／SVOCの文	質問する、理由を述べる、説明する、提案する、描写する／買い物	好きなガチャガチャの景品についてやり取りしたり、ガチャガチャの中にあつたらうれしいものについて説明したりする。	SV00の文やSVOCの文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	SV00の文やSVOCの文を用いて、ガチャガチャにあつたらうれしいものについて、理由や考えを説明している。	SV00の文やSVOCの文を用いて、ガチャガチャにあつたらうれしいものについて、理由や考えを説明しようとしている。
	14	5	Interesting Aquariums	形式主語it／形式目的語it	質問する、理由を述べる、説明する、描写する、共感する、賛成する／旅行	水族館についてやり取りしたり、水族館と動物園のどちらが好きか説明したりする。	形式主語itや形式目的語itについて理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	形式主語itや形式目的語itを用いて、水族館と動物園のどちらが好きかについて、理由や考えを説明している。	形式主語itや形式目的語itを用いて、水族館と動物園のどちらが好きかについて、理由や考えを説明しようとしている。
3 学 期	14	6	The Relay of Ahmed's Life	知覚動詞／使役動詞	質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する、説得する、承諾する／情報通信ネットワークを活用すること	将来の夢についてやり取りしたり、パレスチナとイスラエルの問題について発表したりする。	知覚動詞や使役動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表している。	知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表しようとしている。
	5		COMMUNICATE+㊦		提案する、申し出る、賛成する、承諾する、望む、誘う、依頼する、繰り返す、聞き直す、話題を発展させる／買い物	友だちと電話やメールで買い物などに誘う場面のやり取りをする。	電話やメールでの表現を理解し、やり取りする技能を身に付けている。	電話やメールで、考えや気持ちを的確にやり取りしている。	電話やメールで、考えや気持ちを的確にやり取りしようとしている。
	14	7	Artificial Intelligence	接続詞／前置詞	質問する、共感する、望む、推論する、理由を述べる、説明する、描写する／家庭での生活、情報ネットワークを活用すること	AIロボットについてやり取りしたり、自分の欲しいAIロボットについて絵を描いて紹介したりする。	接続詞や前置詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明している。	接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明しようとしている。

学校名	県立浦添商業高等学校	学科	国際観光		
科目	英語コミュニケーションⅡ	課程	全日制	学年	2
使用許可書	Amity English Communication Ⅱ	単位	3		
副教材	Amity English Communication Ⅱ Workbook				

学習の到達目標					日常的・社会的な話題について、話される速さや、使用する語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 2. 必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細や目的に応じて捉えることができる。					
					日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、 3. 必要な情報を聞き取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 4. 必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。					
学習の到達目標					日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、 5. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。 6. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができる。					
					日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、 7. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 8. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができる。 9. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。 10. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。					
3 期 制	配 当 時 数	課	タイトル	学習のねらい			評価の観点			
				言語材料	言語の働き・ 言語の使用場面	言語活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期	2		GET READY	be動詞・一般動詞／主な文構造(5文型)／助動詞／名詞の複数形／代名詞／不定詞／動名詞／受動態／比較	説明する、報告する、描写する、理由を述べる、提案する、申し出る、許可する、推論する					
	6	1	Okinawa	be動詞・一般動詞の現在形の復習／助動詞の復習	質問する、理由を述べる、説明する、相づちを打つ、話題を発展させる／旅行	沖縄についてやり取りしたり、旅行で行ってみたい場所について紹介したりする。	be動詞・一般動詞の現在形、助動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介している。	be動詞・一般動詞の現在形や助動詞を用いて、旅行で行ってみたい場所について、場所や理由を紹介しようとしている。	
	6	2	The History of Japanese Food	be動詞・一般動詞の過去形の復習／動名詞の復習	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、描写する／食事	食事についてやり取りしたり、友だちの好きな食べ物について紹介したりする。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介している。	be動詞・一般動詞の過去形や動名詞を用いて、友だちの好きな食べ物について、理由や考えを紹介しようとしている。	
	7	3	Volunteer Work	不定詞の復習／受動態の復習	質問する、理由を述べる、説明する、主張する／学校での学習や活動、地域での活動	ボランティアについてやり取りしたり、自分が参加してみたいボランティアについて書いて伝えたりする。	不定詞や受動態を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	不定詞や受動態を用いて、参加してみたいボランティアについて、理由や考えを書いて伝えている。	不定詞や受動態を用いて、参加してみたいボランティアについて、理由や考えを書いて伝えようとしている。	
	8	4	Gacha-gacha	SVOOの文／SVOCの文	質問する、理由を述べる、説明する、提案する、描写する／買い物	好きなガチャガチャの景品についてやり取りしたり、ガチャガチャの中にあつたらうれいものについて説明したりする。	SVOOの文やSVOCの文を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	SVOOの文やSVOCの文を用いて、ガチャガチャにあつたらうれしいものについて、理由や考えを説明している。	SVOOの文やSVOCの文を用いて、ガチャガチャにあつたらうれしいものについて、理由や考えを説明しようとしている。	
	8	5	Interesting Aquariums	形式主語it／形式目的語it	質問する、理由を述べる、説明する、描写する、共感する、賛成する／旅行	水族館についてやり取りしたり、水族館と動物園のどちらが好きか説明したりする。	形式主語itや形式目的語itについて理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	形式主語itや形式目的語itを用いて、水族館と動物園のどちらが好きかについて、理由や考えを説明している。	形式主語itや形式目的語itを用いて、水族館と動物園のどちらが好きかについて、理由や考えを説明しようとしている。	
2 学 期	8	6	The Relay of Ahmed's Life	知覚動詞／使役動詞	質問する、理由を述べる、説明する、提案する、共感する、説得する、承諾する／情報通信ネットワークを活用すること	将来の夢についてやり取りしたり、パレスチナとイスラエルの問題について発表したりする。	知覚動詞や使役動詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表している。	知覚動詞や使役動詞を用いて、パレスチナとイスラエルの問題について、考えや気持ちを発表しようとしている。	
	1		COMMUNIC ATE+⓪		提案する、申し出る、賛成する、承諾する、望む、誘う、依頼する、繰り返す、聞き直す、話題を発展させる／買い物	友だちと電話やメールで買い物などに誘う場面のやり取りをする。	電話やメールでの表現を理解し、やり取りする技能を身に付けている。	電話やメールで、考えや気持ちを的確にやり取りしている。	電話やメールで、考えや気持ちを的確にやり取りしようとしている。	
	8	7	Artificial Intelligence	接続詞／前置詞	質問する、共感する、望む、推論する、理由を述べる、説明する、描写する／家庭での生活、情報ネットワークを活用すること	AIロボットについてやり取りしたり、自分の欲しいAIロボットについて絵を描いて紹介したりする。	接続詞や前置詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明している。	接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明しようとしている。	
	8	8	The Mystery of Colors	現在完了／現在完了進行形	質問する、理由を述べる、説明する、推論する、聞き直す、話題を発展させる／食事、家庭での活動	好きな色についてやり取りしたり、写っている果物の色について説明したりする。	現在完了や現在完了進行形について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明している。	現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明しようとしている。	
	1		FOCUS+⓪	形式主語・形式目的語／知覚動詞・使役動詞／接続詞・前置詞／完了形	質問する、理由を述べる、説明する、賛成する、報告する	日本の学校で許されていることについて話し合ったり、動作が完了していること、継続していることについてたずね合ったりする。				
	8	9	Street Performers	分詞の形容詞的用法／分詞構文	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、賛成する、命令する、望む／テレビや映画、動画、ラジオなどを観たり、聞いたりすること	ストリートパフォーマンスについてやり取りしたり、好きなミュージシャンまたは好きな曲について書いて伝えたりする。	分詞の形容詞的用法や分詞構文について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	分詞の形容詞的用法や分詞構文を用いて、好きなミュージシャンや好きな曲について、考えや気持ちを書いて伝えている。	分詞の形容詞的用法や分詞構文を用いて、好きなミュージシャンや好きな曲について、考えや気持ちを書いて伝えようとしている。	
3 学 期	8	10	The Culture of Selfies	関係代名詞(制限用法)／関係代名詞(非制限用法)	質問する、理由を述べる、説明する、共感する、命令する、注意をひく、話題を発展させる、驚く、描写する／情報通信ネットワークを活用すること	写真についてやり取りしたり、身近な人の似顔絵を描いてその人の紹介をしたりする。	関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)を用いて、身近な人の似顔絵を描いて、その人について考えや気持ちを紹介している。	関係代名詞(制限用法)や関係代名詞(非制限用法)を用いて、身近な人の似顔絵を描いて、その人について考えや気持ちを紹介しようとしている。	
	8	11	Finland	関係副詞	質問すること、説明する、聞き直す、話題を発展させる、驚く／手紙や電子メールのやり取り	クリスマスのプレゼントについてやり取りしたり、フィンランド製のマグカップの魅力について紹介したりする。	関係副詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	関係副詞を用いて、フィンランド製のマグカップの魅力について、考えや気持ちを紹介している。	関係副詞を用いて、フィンランド製のマグカップの魅力について、考えや気持ちを紹介しようとしている。	
	8	12	In Order to Live a Happy Life	I wishを用いた文／仮定法過去／仮定法過去完了	質問する、断る、望む、仮定する、推論する、理由を述べる、助言する、要約する／学校での学習や活動、職場での活動	今、望んでいることや希望していることについてやり取りしたり、過去の出来事に反する願望を書いて表現したりする。	I wishを用いた文、仮定法過去や仮定法過去完了について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。	I wishを用いた文や仮定法過去、仮定法過去完了を用いて、過去の出来事に反する願望について、考えや気持ちを書いて表現している。	I wishを用いた文や仮定法過去、仮定法過去完了を用いて、過去の出来事に反する願望について、考えや気持ちを書いて表現しようとしている。	
	1		FOCUS+⓪	分詞の形容詞的用法・分詞構文／関係代名詞／関係副詞／仮定法	質問する、理由を述べる、説明する、仮定する	身近にあるものについてクイズを出し合ったり、かなわないと思っている願望について話し合ったりする。				
	1		COMMUNIC ATE+⓪		質問する、説明する、誘う、提案する、申し出る、驚く、相づちを打つ／食事、買い物	レストランやお土産屋でのやり取りをする。	レストランやお土産屋での表現を理解し、やり取りする技能を身に付けている。	レストランやお土産屋でのやり取りの場面で、考えや気持ちを話して伝えている。	レストランやお土産屋でのやり取りの場面で、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	
	8	R	Cremona		質問する、説明する、理由を述べる、共感する／テレビや映画、動画、ラジオなどを観たり、聞いたりすること	クレモナ在住の横山令奈さんについて話し合い、考えや気持ちを伝え合ったりする。	さまざまな言葉や表現を理解し、横山令奈さんの活動について読み取る技能を身に付けている。	クレモナ在住の横山令奈さんの活躍について、概要や要点を読み取っている。	クレモナ在住の横山令奈さんの活躍について、概要や要点を読み取ろうとしている。	

学科	企業システム・IT ビジネス				
科目	総合英語(選択科目)	単位	2	学年	2
使用教科書	Heart of OKINAWA				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

3. 学習状況の評価

	定期考査 (中間・期末考査)	パフォーマンステスト (発表・課題)	授業参加・提出物 (活動状況・ワークシート・課題・振り返りシート等)
①知識・技能	◎	◎	○
②思考判断表現	◎	◎	○
③主体的に学習に取り組む態度	○	○	◎

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項

○その単元において指導する事項

4. 学習方法についてのアドバイス

①毎時間しっかり出席しましょう。(特に定期考査は病院受診等やむをえない事情以外では休むと点数がありません。※受診の証明となるものを提出すること。)

②毎時間使用するワークシート、教材のポイント等をしっかり記入しましょう。

③配布物はしっかりと綴り、テスト前に復習ができるように管理しましょう。

④定期考査以外のパフォーマンステストもしっかりと受けましょう。

⑤單元ごとの振り返りシートには、「学んだこと」、「どのように学んだか」、「何を考え、何ができるようになったか」などを目標に照らし合わせて自分で考えたことをまとめましょう。

⑥沖縄について多くのことを考え、意見を出し合い、色々な考え方や視点を持って授業から学び、自分の財産にする姿勢を持ちましょう。

5. 実施定期考査と予想範囲

1 学期	2 学期	3 学期
中間 実施なし	中間 Lesson4、5、6	学年末 Lesson10、11
期末 Lesson1、2	期末 Lesson7、8、9	

※それぞれのレッスンではパフォーマンステストがあります。

6. 授業スケジュール

1 学期	2 学期	3 学期
4 月 Get Ready Getting to Know Each Other	9 月 Lesson4 Music in Okinawa	1 月 Lesson10 Why Many Died
<知識・技能>	<知識・技能>	<知識・技能>
英語の構文を理解し、英語で相手について知りたいことを質問したり、質問に答えたりする技能を身に付けている。	沖縄の音楽の歴史的背景や今にいたる音楽文化を読み取るための語彙や文法を身につけている。	「ヌチドゥタカラ」に関して、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。
<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>
英語で相手に質問して情報を引きだし、他己紹介文を書く。クラスメイトの他己紹介文を読んでコメントを行う。	自分にとって"touching"や"cheerful"になれる音楽の曲を紹介する。またとくにその部分の歌詞を英訳する。	だれかからもらった大切なものや、自分が大切に思うことなどについて、自分の考えや気持ちを書いて伝えている。
<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>
英語で相手に質問して情報を積極的に引きだし、他己紹介文を書こうとしている。クラスメイトの他己紹介文を読んで積極的にコメントを行おうとしている。	自分にとって"touching"や"cheerful"になれる音楽の曲を紹介しようとしている。またその部分の歌詞を英訳しようとしている。	だれかからもらった大切なものや、自分が大切に思うことなどについて、自分の考えや気持ちを書いて伝えようとしている。
5 月 Lesson1 Why So Beautiful?	10 月 Lesson5 Okinawan Brotherhood	2 月 Lesson11 Life is a Treasure
<知識・技能>	<知識・技能>	<知識・技能>
沖縄の海がなぜ美しいかを読み取るための語彙や用法を理解している。	沖縄の「いちやりばちよーでー」文化が人々の中に根ざしている精神風土であることを読み取るための語彙や文法を理解している。	沖縄が捨て石、または要石としての役割を担っていることについて、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。
<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>
be 動詞・一般動詞の現在形を用いて、沖縄のおすすめビーチや歴史的跡地など観光地を紹介する。	「いちやりばちよーでー」文化について、家族(特に年配の方々)から聞き取り調査を行い、どのような経験があったか、その文化についてどう思うかをまとめ、英文で紹介する。	沖縄と日本本土を様々な視点で比較する。その調査結果をグラフやチャートで示しながら発表する。
<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>
be 動詞・一般動詞の現在形を用いて、沖縄のおすすめビーチや歴史的跡地など観光地を紹介しようとしている。	「いちやりばちよーでー」文化について、家族(特に年配の方々)から聞き取り調査を行い、どのような経験があったか、その文化についてどう思うかをまとめ、英文で紹介しようとしている。	沖縄と日本本土を様々な視点で比較する。その調査結果をグラフやチャートで示しながら発表しようとしている。
6 月 Lesson2 Eat Well, Live Long!	10 月 Lesson6 Karate in Okinawa	2 月 Lesson12 Okinawa and the Mainland
<知識・技能>	<知識・技能>	<知識・技能>
沖縄の人がなぜ長生きできるのかを読み取るために語彙を理解し、概要を捉える技法を身につけている。料理レシピを書くための語彙を理解している。	沖縄の空手の歴史について、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。	平和を願う沖縄にある「平和の礎」について、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。
<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>
長生きするために良いとされる沖縄の料理レシピを手順を説明しながら紹介文を書く。	沖縄出身のスポーツ選手について調べ、調べた内容を伝え合う。	戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐために私たちができることを発表する。
<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>

長生きするために良いとされる沖縄の料理レシピを手順を説明しながら紹介文を書こうとしている。	沖縄出身のスポーツ選手について調べ、調べた内容を伝え合おうとしている。	戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継ぐために私たちができることを発表しようとする。
7月 Lesson3 Talismans in Okinawa	11月 Lesson7 No Weapons?!	3月 Lesson13 Pray for Peace
<知識・技能>	<知識・技能>	<知識・技能>
沖縄の建物の特徴の話題(魔除け)について、その概要や要点を捉える技能を身に付けている。	武器を持たなかった琉球について、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。	これまで学んだ沖縄の精神について、自分が最も惹かれたもの、または語り続けたいものを一つピックアップし、より掘り下げて調べたものを伝え合うための語彙や文法を知っている。
<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>	<思考・判断・表現>
沖縄の魔除けに関する文化や、シーミーなどの祖先とのつながりを大切にする文化についてクイズを作成し、発表する。	琉球王国時代に作られた建造物を調べ、紹介する。	これまで学んだ沖縄の精神について、自分が最も惹かれたもの、または語り続けたいものを一つピックアップし、より掘り下げて調べたものを伝え合う。
<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>	<主体的に学習に取り組む態度>
沖縄の魔除けに関する文化や、シーミーなどの祖先とのつながりを大切にする文化についてクイズを作成し発表しようとしている。	琉球王国時代に作られた建造物を調べ、紹介しようとしている。	これまで学んだ沖縄の精神について、自分が最も惹かれたもの、または語り続けたいものを一つピックアップし、より掘り下げて調べたものを伝え合おうとしている。

11月 Lesson8 Imaru, Helping Each Other
<知識・技能>
沖縄の精神文化「イマールー」について、話の概要や要点を捉える技能を身に付けている。
<思考・判断・表現>
互いに助け合うシーンを想定したスキットを作成し、披露する。また他のグループのスキットを理解し、感想を述べあう。
<主体的に学習に取り組む態度>
互いに助け合うシーンを想定したスキットを作成し、披露する。また他のグループのスキットを理解し、感想を述べあおうとしている。
12月 Lesson9 The War and the Gama
<知識・技能>
沖縄戦とガマについての話を読み、その概要や要点を捉える技能を身に付けている。
<思考・判断・表現>
ガマやその他の戦跡を一つ選び調べたことを英語で発表する。
<主体的に学習に取り組む態度>
ガマやその他の戦跡を一つ選び調べたことを英語で発表しようとしている。

令和5年度 VISTA English CommunicationⅡ シラバス

科目名【 コミュニケーション英語Ⅱ 】 単位数【2】 教科書【 VISTA English Communication Ⅱ 三省堂 】

対象クラス【 3年 企業システム・IT ビジネス（標準クラス）】

1. 学習の到達目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2.学習の観点別評価基準

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ②表現の能力（正確・適切な発話、正確・適切な音読、正確・適切な筆記）
- ③理解の能力（正確・適切な聞き取り、正確・適切な読み取り）

3. 学習の評価

- ①各学期の中間・期末テスト

②各レッスンの単語テスト

③高校英語の基礎B

④提出物等
- 70%
- 30%

4. 学習計画

学期	月	課	タイトル	学習のねらい	主な言語材料 指導上の留意点	評価の観点						
						コミュニケーションへの関心意欲 態度	表現の能力			理解の能力		言葉や文化について 知識理解
							話す	読む	書く	聞く	読む	
Ⅰ	4～5	L.6	Unique Countries	・小さい国、小さい島国、小さい大陸はどこかを知る。	・疑問詞と不定詞の組み合わせに慣れさせる。 ・ seem の用法に慣れさせる。 ・ how to do ・ It seems that ～.	○	○	○	○	○	○	
		ENJOY COMMUNICATION! 3 Where Can I Get a Ticket?		・切符購入の場面でのコミュニケーション活動。 ・切手購入についての簡単なやりとりができるようにする。	○	◎	○	○	○	○		
		高校英語の基礎 p.4 ～10		・基本的な文法を定着させる。	・文の種類①②・名詞・冠詞 ・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。	○	○	○	◎	○	○	
		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	◎	○	○	
	6～7	高校英語の基礎 p.12 ～p.18		・基礎学的な文法を定着させる。	・文脈から、未知語の意味を推測できるようにする。 ・代名詞・形容詞・副詞・動詞 ・助動詞	○	○	○	◎	○	○	
		L.7	The Galapagos Islands	・今、ガラパゴス諸島に起こっていることは何かを知る。	・現在完了形と現在完了進行形を使い分けられるようにする。 ・形式主語 it と形式目的語 it の違いを理解させる。 ・現在完了進行形 ・形式目的語 it	○	○	○	○	○	◎	
		高校英語の基礎 p.20 ～p.26		・基本的な文法を定着させる。	・詞のリズムや韻に注意させながら、実際に朗読、または歌ってみる。 ・現在完了・進行形・比較	○	○	○	○	○	○	
Ⅱ	9～10	L.8	Shodo, Old and New	・伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。	・部分否定の訳し方に注意させる。 ・さまざまな助動詞＋受け身の形に慣れさせる。・部分否定 ・ can be done	○	○	○	○	○	◎	
		ENJOY COMMUNICATION! 4 What's the Matter?		・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。 ・体調についての簡単なやりとりができるようにする。	◎	◎	○	○	○	○		
		高校英語の基礎 p.28 ～p.34		・基本的な文法を定着させる。	・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	○	○	◎	○	○	
	英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	○	○	◎	○	

11 ～ 12	Look and Learn 4		・文法のまとめ (it のいろいろな用法・さまざまな否定・現在完了形のまとめ) ・言語材料を体系的に整理させる。		○	○	○	◎	○	○	○	
	Reading Skill 4		・パラグラフの構成を把握する。 ・パラグラフの構成を意識しながら読み進めるようにする。		○	○	○	○	○	◎	○	
	L.9	Water World	・昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割を考える。	・関係代名詞の制限用法と、非制限用法を使い分けられるようにする。 ・さまざまな現在完了形＋受け身の形に慣れさせる。 ・関係代名詞の非制限用法 ・have been done	○	○	○	○	○	◎	○	
	高校英語の基礎 p.36 ～p.44		・基本的な文法を定着させる。	・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。 ・分詞・前置詞・接続詞・関係代名詞 (1)	○	○	○	◎	○	○	○	
	英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	◎	○	○	○	
Ⅲ	1 ～ 2	Take a Break! 5 新年カードクイズ		・さまざまな国の新年の挨拶を通して、各言語に親しむ。 ・文字の特徴や、写真から見られる文化にも気づかせる。	○	○	○	○	○	○	◎	
		L.10	A Long Friendship	・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。	・現在完了形と、過去完了形を使い分けられるようにする。 ・強調構文の形に慣れさせる。 ・過去完了形 ・強調構文	○	○	○	○	○	○	◎
		高校英語の基礎 p.46 ～p.54		・基本的な文法を定着させる。	・これまで学んだ基礎文法の復習 ・関係代名詞(2)・文系(1)(2) ・英語の品詞・まとめ	○	○	○	◎	○	○	○
		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	○	○	◎	○	○	○

令和5年度 Vivid English Communication III【3年国際観光科（発展クラス）】シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	3	学年	3年
使用教科書	(コⅢ345) Vivid English Communication III NEW EDITION(第一学習社)			副教材等	同教科書準拠本文完成ノート, WORK & DRILL(第一学習社)

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

期	月	種	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1学期	4月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。					
		1学期中間考査	Get Ready 1	<ねらい> 意味のまとまりごとに区切って英文を読み、内容を把握することができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 2	<ねらい> 英文を読み、代名詞の指す内容を理解することができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 3	<ねらい> つながりの語句に注意して英文を読み、文と文の関係や論の展開をつかむことができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 4	<ねらい> つながりの語句に注意して英文を読み、文と文の関係や論の展開をつかむことができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 5	<ねらい> 英文を読み、主題文と支持文がどれであるか把握し、パラグラフ全体の概要をつかむことができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	5月		Get Ready 6	<ねらい> 英文を読み、導入・展開・まとめなど文章の構成を把握し、英文全体の流れをつかむことができる。			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況

学期	月	学期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
			Lesson 1 Happy Nations	<題材内容とねらい> ・ コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取らせる。 ・ 幸福であるとはどういうことか、自ら考えさせる。 ・ 自分に幸福を感じさせるものや日本国民を幸せにするためのアイデアを発表させる。 <言語材料> 助動詞+have+過去分詞、独立不定詞を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	6月	1学期期末考査	Lesson 2 “Gamification”: Games May Save the World	<題材内容とねらい> ・ 「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取らせる。 ・ 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果や、今後どのような分野に応用されるかについて自ら考えさせる。 ・ オンラインゲームや節電方法について発表させる。 <言語材料> 省略、無生物主語を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
			Lesson 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<題材内容とねらい> ・ クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取らせる。 ・ クモの糸のもつ可能性について自ら考えさせる。 ・ クモの巣と楽器について発表させる。 <言語材料> 代動詞、部分否定を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	7月		Lesson 4 Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<題材内容とねらい> ・ 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読み取らせる。 ・ 生物や環境を守る取り組みについて自ら考えさせる。 ・ リサイクル製品や絶滅の危機に瀕した動物について発表させる。 <言語材料> It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	第1学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Get Ready 1～6、Lesson 1～4の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
2学期	9月	2学期中間考査	Lesson 5 Gagaku, the Music of the Universe	<題材内容とねらい> ・ 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取らせる。 ・ 自国の文化に対する理解を深め、雅楽の魅力について考えさせる。 ・ 日本の伝統音楽や伝統芸能について発表させる。 <言語材料> 分詞構文(完了形)、関係副詞の非制限用法を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	10月		Lesson 6 Etymology: Wonders of Words	<題材内容とねらい> ・ 語の歴史や起源について読み取らせる。 ・ 英単語の語源や語義変化について考えさせる。 ・ 英単語に関して自分のもっている知識を発表させる。 <言語材料> 文修飾副詞、準否定語を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題

学期 学期	月	学年 学年	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法	
			Lesson 7 A Lesson from Steve Jobs' Life	<題材内容とねらい> ・ スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取らせる。 ・ 自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考えさせる。 ・ 自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表させる。 <言語材料> more A than B, 強調構文を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	11月	2 学期 末 考 査	Lesson 8 Water: The Biggest Problem in the Century	<題材内容とねらい> ・ 世界で起こっている水危機の現状を読み取らせる。 ・ 水危機の解決のためにできることを自ら考えさせる。 ・ 節水の方法や、雨水と再利用水の利用法について発表させる。 <言語材料> 未来のことを表す仮定法, if it were not for ... [if it had not been for ...]を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	12月		Lesson 9 A Lucky Child	<題材内容とねらい> ・ ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読み取らせる。 ・ 平和と人権の尊さについて自ら考えさせる。 ・ 幸運な経験、人を手助けした経験や手助けしてもらった経験について発表させる。 <言語材料> have+O+過去分詞, as if+仮定法を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	第2学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 5～9の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
	3 学期	1月	学 年 末 考 査	Reading 1 Information Please	<題材内容とねらい> ・ 既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・ 出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
		Reading 2 Becky and the Wolf		<題材内容とねらい> ・ 既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・ 出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
2月					○		○	○	・ 評価問題	
第3学期の評価方法			<評価の対象> ①学年末考査の成績, ②Reading 1, 2の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。							
学年の評価方法			①コミュニケーションへの関心・意欲・態度, ②外国語表現の能力, ③外国語理解の能力, ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。							

令和5年度 Vivid English Communication III【3年国際観光科（標準クラス）】 シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	3	学年	3年	
使用教科書	(コⅢ345) Vivid English Communication III NEW EDITION (第一学習社)			副教材 等	同教科書準拠本文完成ノート, WORK & DRILL (第一学習社)	

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
1学期	4月	オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。					
		1学期中間考査	Get Ready 1			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 2			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 3			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 4			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Get Ready 5			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	5月		Get Ready 6			○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況

学期	月	学期	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
			Lesson 1 Happy Nations	<題材内容とねらい> ・ コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取らせる。 ・ 幸福であるとはどういうことか、自ら考えさせる。 ・ 自分に幸福を感じさせるものや日本国民を幸せにするためのアイデアを発表させる。 <言語材料> 助動詞+have+過去分詞、独立不定詞を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	6月	1学期期末考査	Lesson 2 “Gamification”: Games May Save the World	<題材内容とねらい> ・ 「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取らせる。 ・ 「ゲーミフィケーション」がもたらす効果や、今後どのような分野に応用されるかについて自ら考えさせる。 ・ オンラインゲームや節電方法について発表させる。 <言語材料> 省略、無生物主語を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
			Lesson 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<題材内容とねらい> ・ クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取らせる。 ・ クモの糸のもつ可能性について自ら考えさせる。 ・ クモの巣と楽器について発表させる。 <言語材料> 代動詞、部分否定を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	7月		Lesson 4 Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<題材内容とねらい> ・ 携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読み取らせる。 ・ 生物や環境を守る取り組みについて自ら考えさせる。 ・ リサイクル製品や絶滅の危機に瀕した動物について発表させる。 <言語材料> It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	第1学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Get Ready 1～6、Lesson 1～4の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。					
2学期	9月	2学期中間考査	Lesson 5 Gagaku, the Music of the Universe	<題材内容とねらい> ・ 東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取らせる。 ・ 自国の文化に対する理解を深め、雅楽の魅力について考えさせる。 ・ 日本の伝統音楽や伝統芸能について発表させる。 <言語材料> 分詞構文(完了形)、関係副詞の非制限用法を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
	10月		Lesson 6 Etymology: Wonders of Words	<題材内容とねらい> ・ 語の歴史や起源について読み取らせる。 ・ 英単語の語源や語義変化について考えさせる。 ・ 英単語に関して自分のもっている知識を発表させる。 <言語材料> 文修飾副詞、準否定語を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題

学期 学期	月	学年 学年	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法	
			Lesson 7 A Lesson from Steve Jobs' Life	<題材内容とねらい> ・ スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取らせる。 ・ 自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考えさせる。 ・ 自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表させる。 <言語材料> more A than B, 強調構文を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	11月	2 学期 末 考 査	Lesson 8 Water: The Biggest Problem in the Century	<題材内容とねらい> ・ 世界で起こっている水危機の現状を読み取らせる。 ・ 水危機の解決のためにできることを自ら考えさせる。 ・ 節水の方法や、雨水と再利用水の利用法について発表させる。 <言語材料> 未来のことを表す仮定法, if it were not for ... [if it had not been for ...]を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	12月		Lesson 9 A Lucky Child	<題材内容とねらい> ・ ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読み取らせる。 ・ 平和と人権の尊さについて自ら考えさせる。 ・ 幸運な経験、人を手助けした経験や手助けしてもらった経験について発表させる。 <言語材料> have+O+過去分詞, as if+仮定法を理解し、文を作ることができる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
	第2学期の評価方法			<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 5～9の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
	3 学期	1月	学 年 末 考 査	Reading 1 Information Please	<題材内容とねらい> ・ 既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・ 出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題
		Reading 2 Becky and the Wolf		<題材内容とねらい> ・ 既習の言語材料に関する知識を使いながら、長めの物語文を読ませて、その概要を読み取らせるとともに、英文読解の楽しさを体験させる。 ・ 出来事の推移、各場面における登場人物の心理などについて、読み取らせる。	○		○	○	・ 授業での取り組み ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題	
2月					○		○	○	・ 評価問題	
第3学期の評価方法			<評価の対象> ①学年末考査の成績, ②Reading 1, 2の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。							
学年の評価方法			①コミュニケーションへの関心・意欲・態度, ②外国語表現の能力, ③外国語理解の能力, ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。							

令和5年度 「英語表現Ⅰ」 シラバス

科目	英語表現Ⅰ	単位	3	学年	3	国際観光科
使用教科書	(英Ⅰ315) Vivid English ExpressionⅠ (第一学習社)			副教材等	同教科書準拠ワークブック(第一学習社)	

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。 具体的言語活動は次の通り。 ア. 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 イ. 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。 ウ. 聞いたこと、読んだこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。
---------	---

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	学習項目	学習内容（ねらい）および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
1学期	4月	Lesson 1 Hello, Everyone!	＜本課のねらい＞ ・ be-動詞および一般動詞を用いた肯定文、否定文を学習する。 ・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・ 文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 ＜文型・文法事項＞ be-動詞および一般動詞の肯定文、否定文を理解し、文を作ることができる。 ＜言語の使用場面＞ 英語で自己紹介することができる。	○	○	○	○	・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題 ・ 定期考査
		Lesson 2 She Is from Canada	＜本課のねらい＞ ・ 疑問文、命令文の表し方を学習する。 ・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に適切に答える。 ・ 文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 ＜文型・文法事項＞ 疑問文、命令文の表し方を理解し、文を作ることができる。 ＜言語の使用場面＞ 「留学生」の場面を想定してコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題 ・ 定期考査
		Lesson 3 My School Life	＜本課のねらい＞ ・ S+V, S+V+C の文構造を学習する。 ・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に適切に答える。 ・ 文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 ＜文型・文法事項＞ S+V, S+V+C の文構造を理解し、文を作ることができる。 ＜言語の使用場面＞ 「学校生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題 ・ 定期考査
	5月	Lesson 4 We Enjoy Club Activities	＜本課のねらい＞ ・ S+V+O, S+V+O ₁ +O ₂ の文構造を学習する。 ・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に適切に答える。 ・ 文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 ＜文型・文法事項＞ S+V+O, S+V+O ₁ +O ₂ の文構造を理解し、文を作ることができる。 ＜言語の使用場面＞ 「クラブ活動」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題 ・ 定期考査
		Lesson 5 My Hobby	＜本課のねらい＞ ・ S+V+O+C, There is [are] ... の文構造を学習する。 ・ 英文を聞き取り、情報を整理して質問に適切に答える。 ・ 文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 ＜文型・文法事項＞ S+V+O+C, There is [are] ... の文構造を理解し、文を作ることができる。 ＜言語の使用場面＞ 「趣味・余暇」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 課題などの提出状況 ・ 評価問題 ・ 定期考査

年次	月	学習項目	学習内容（ねらい） および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法	
第1学期	5月	For Communication 1	<本課のねらい> ・提案・勧誘を表す表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 「提案・勧誘」の表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「電話」の場面をふまえて「提案・勧誘」の表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査	
		Lesson 6 My Trip to Australia	<本課のねらい> ・現在形・現在進行形、過去形・過去進行形の表現と働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 現在形・現在進行形、過去形・過去進行形の表現と働きを理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「旅行」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査	
		Lesson 7 Today's Weather Forecast	<本課のねらい> ・will, be going to および未来を表す現在進行形を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> will, be going to, 現在進行形などの未来を表す表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「天候・気候」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査	
	6月	Lesson 8 Let's Have a Party!	<本課のねらい> ・現在完了形の表現と意味を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 現在完了形の表現と意味を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「パーティー」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査	
		Lesson 9 Let's Enjoy Cooking!	<本課のねらい> ・助動詞の働きと表す意味を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 助動詞の働きと表す意味を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「料理」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査	
		Lesson 10 What's the Matter?	<本課のねらい> ・助動詞 should, 助動詞を用いた依頼・勧誘を表す表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> should, 助動詞を用いた依頼・勧誘の表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「健康・病気」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査	
		For Communication 2	<本課のねらい> ・「聞き直す、繰り返す」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「聞き直す・繰り返す」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「道案内」の場面をふまえて「聞き直す・繰り返す」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査	
		第1学期の評価方法		<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Lesson 1～Lesson 10の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。					

学期 学年	月	学習項目	学習内容（ねらい） および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
2 学期	7 月	Lesson 11 A New Ballpark	<本課のねらい>・受動態の表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 受動態の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「スポーツ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 12 I like Movies	<本課のねらい> ・by 以外を用いる受動態、感情を表す受動態の表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> by 以外を用いる受動態、感情を表す受動態の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「映画」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
	9 月	Lesson 13 Online Information	<本課のねらい>・to-不定詞の名詞用法を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> to-不定詞の名詞用法, It is ... to ~の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「情報」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 14 Out of Fashion	<本課のねらい>・to-不定詞の形容詞用法を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> to-不定詞の形容詞用法を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「ファッション」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		For Communication 3	<本課のねらい>・「希望する・願望する」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に場面や目的等に応じて適切に英語で表現する。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「希望する・願望する」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「買い物」の場面をふまえて「希望する・願望する」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査
	10 月							
	11 月	Lesson 15 My Father Is a Good Cook	<本課のねらい> ・to-不定詞の副詞用法(目的, 感情の原因・理由)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> to-不定詞の副詞用法を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「家事・生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 16 School Festival	<本課のねらい> ・S+V+O+to-不定詞, 疑問詞+to-不定詞の表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> S+V+O+to-不定詞, 疑問詞+to-不定詞の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「文化祭」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 17 Doing Homestay	<本課のねらい>・動名詞の働きと意味を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項>動名詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「ホームステイ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 18 Our National Sport	<本課のねらい>・分詞の形容詞用法を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 形容詞用法の分詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「日本文化」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの 提出状況 ・評価問題 ・定期考査

学期 学年	月	学年 学期	学習項目	学習内容（ねらい） および評価の観点	a	b	c	d	評価の方法
			For Communication 4	<本課のねらい>・「申し出る」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して場面や目的等に応じて適切に英語で表現する。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「申し出る」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「レストラン」の場面をふまえて「申し出る」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査
			第2学期の評価方法	<評価の対象> ①中間考査及び期末考査の成績、②Lesson 11～Lesson 18の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。					
3 学期	12 月	学年 末 考 査	Lesson 19 Let's Clean the River!	<本課のねらい>・比較(原級, 比較級)の表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 比較(原級, 比較級)の表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「ボランティア」の場面の表現をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 20 Events in My Town	<本課のねらい>・最上級, 最上級の意味を表す比較表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 最上級, 最上級の意味を表す比較表現を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「地域の行事」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 21 I Have a Foreign Friend	<本課のねらい>・関係代名詞(主格・目的格)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 主格・目的格の関係代名詞を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「異文化」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 22 My Future Dream	<本課のねらい>・関係代名詞(所有格, that)の働きを学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して質問に答える。 ・文章全体の文脈を考えながら、日本語の内容を英語で適切に表現する。 <文型・文法事項> 関係代名詞(所有格, that)を用いて文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「将来の夢」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・定期考査
			For Communication 5	<本課のねらい>・「理由を述べる」表現を学習する。 ・英文を聞き取り、情報を整理して場面や目的等に応じて適切に英語で表現する。 ・場面に合った内容を考えながら、英語で適切に表現する。 <言語の働き> 「理由を述べる」表現を理解し、文を作ることができる。 <言語の使用場面> 「手紙・メール」の場面をふまえて「理由を述べる」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・定期考査
			Further Activities	<本課のねらい> ・読んだり聞いたりした内容についてまとめたり、自分の意見をまとめたりする。 ・つながりを表す語句について学習する。 ・発表の仕方や発表に必要な表現を学習する。 ・パラグラフの構成について基本事項を学習する。 <指導事項> ・つながりを表す語句に注意して英文を聞いたり読んだりすることができる。 ・パラグラフの構成について理解することができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・定期考査
			文法の整理	<本課のねらい>・本課で学習した文型, 文法事項を復習する。 ・コミュニケーション英語 I で学習する項目について確認する。 <指導事項> 学習した文型, 文法事項を適切に用いて表現することができる。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	・授業態度 ・発問評価 ・課題などの提出状況 ・定期考査
			第3学期の評価方法	<評価の対象> ①学年末考査の成績、②Lesson 19～Lesson 22の各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。					
			学年の評価方法	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度、②表現の能力、③理解の能力、④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。					

令和５年度 VISTA English Communication II

科目名【 コミュニケーション英語Ⅱ 】 単位数【 2】 教科書【 VISTA English Communication Ⅱ 三省堂 】

対象クラス【 ３年 企業システム・IT ビジネス （発展クラス）】

1. 学習の到達目標

- ① 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ② 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。

2.学習の観点別評価基準

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ②表現の能力（正確・適切な発話、正確・適切な音読、正確・適切な筆記）
- ③理解の能力（正確・適切な聞き取り、正確・適切な読み取り）

3. 学習の評価

- ①各学期の中間・期末テスト・・・・・・・・ 70%
- ②各レッスンの単語テスト
- ③高校英語の基礎B
- ④提出物等

4. 学習計画

学期	月	課	タイトル	学習のねらい	主な言語材料 指導上の留意点	評価の観点						
						コミュニケーションへの関心意欲 態度	表現の能力			理解の能力		言葉や文化について 知識理解
							話す	読む	書く	聞く	読む	
Ⅰ	4～5	L.6	Unique Countries	・小さい国、小さい島国、小さい大陸はどこかを知る。	・疑問詞と不定詞の組み合わせに慣れさせる。 ・ seem の用法に慣れさせる。 ・ how to do ・ It seems that ～.	○	○	○	○	○	○	○
		ENJOY COMMUNICATION! 3 Where Can I Get a Ticket?		・切符購入の場面でのコミュニケーション活動。 ・切手購入についての簡単なやりとりができるようにする。		○	◎	○	○	○	○	○
		高校英語の基礎 p.4 ～10		・基本的な文法を定着させる。	・文の種類①②・名詞・冠詞 ・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。	○	○	○	◎	○	○	○
		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	◎	○	○	○
	6～7	高校英語の基礎 p.12 ～p.18		・基礎学的な文法を定着させる。	・文脈から、未知語の意味を推測できるようにする。 ・代名詞・形容詞・副詞・動詞 ・助動詞	○	○	○	◎	○	○	○
		L.7	The Galapagos Islands	・今、ガラパゴス諸島に起こっていることは何かを知る。	・現在完了形と現在完了進行形を使い分けられるようにする。 ・形式主語 it と形式目的語 it の違いを理解させる。 ・現在完了進行形 ・形式目的語 it	○	○	○	○	○	○	◎
		高校英語の基礎 p.20 ～p.26		・基本的な文法を定着させる。	・詞のリズムや韻に注意させながら、実際に朗読、または歌ってみる。 ・現在完了・進行形・比較	○	○	○	○	○	○	○
Ⅱ	9～10	L.8	Shodo, Old and New	・伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。	・部分否定の訳し方に注意させる。 ・さまざまな助動詞＋受け身の形に慣れさせる。・部分否定 ・ can be done	○	○	○	○	○	○	◎
		ENJOY COMMUNICATION! 4 What's the Matter?		・病院の診察の場面でのコミュニケーション活動。 ・体調についての簡単なやりとりができるようにする。		◎	◎	○	○	○	○	○
高校英語の基礎 p.28 ～p.34		・基本的な文法を定着させる。	・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	○	○	◎	○	○	○	○	

		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	○	○	◎	○
	11 ～ 12	Look and Learn 4		・文法のまとめ (it のいろいろな用法・さまざまな否定・現在完了形のまとめ) ・言語材料を体系的に整理させる。		○	○	○	◎	○	○	○
		Reading Skill 4		・パラグラフの構成を把握する。 ・パラグラフの構成を意識しながら読み進めるようにする。		○	○	○	○	○	◎	○
		L.9	Water World	・昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割を考える。	・関係代名詞の制限用法と、非制限用法を使い分けられるようにする。 ・さまざまな現在完了形＋受け身の形に慣れさせる。・関係代名詞の非制限用法 ・have been done	○	○	○	○	○	◎	○
		高校英語の基礎 p.36 ～p.44		・基本的な文法を定着させる。	・基礎文法を復習することによって、理解できるようにする。 ・分詞・前置詞・接続詞・関係代名詞 (1)	○	○	○	◎	○	○	○
		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	◎	○	◎	○	○	○
Ⅲ	1 ～ 2	Take a Break! 5 新年カードクイズ		・さまざまな国の新年の挨拶を通して、各言語に親しむ。 ・文字の特徴や、写真から見られる文化にも気づかせる。		○	○	○	○	○	○	◎
		L.10	A Long Friendship	・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。	・現在完了形と、過去完了形を使い分けられるようにする。 ・強調構文の形に慣れさせる。 ・過去完了形 ・強調構文	○	○	○	○	○	○	◎
		高校英語の基礎 p.46 ～p.54		・基本的な文法を定着させる。	・これまで学んだ基礎文法の復習 ・関係代名詞(2)・文系(1)(2) ・英語の品詞・まとめ	○	○	○	◎	○	○	○
		英会話文作成・発表		・これまで学んだ文法を用いて英作文を作成し、ペアで発表させる。	・アウトプットをすることによって、習得できるようになる。 ・受動態・不定詞・動名詞	○	○	○	◎	○	○	○

校長	教頭	教頭

学校名	県立浦添商業高等学校	学科	国際観光科		
科目	中国語Ⅲ	単位	3	学年	3
使用教科書	改訂版 We can 中国語 初級				
副教材					

科目の目標

担当：

城間 真理子

印

(1)	(2)	(3)
中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・中国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	中国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項

○その単元において指導する事項

学習項目	評価規準	領域					評価方法
		聞くこと	読むこと	「やりとり」 と「話すこと」	「話すこと」 「発表」	書くこと	
オリエンテーション ＋ 中国語の仕組み 発音1 (単母音、声調) 数字(0～100) ※指文字含む 中国の基礎知識	<知識・技能> ・既に知っている中国語を許に、中国語の仕組みを理解する。 ・数字(0～100)を中国語で言える。 ・中国の基本事項を知る。 <思考・判断・表現> ・中国語仕組みに注意しながら、中国語の挨拶や数字を習得し、数字を応用して月日や曜日を表現することができる。 <主体的に学習に取り組む態度> ・教師の説明するポイント等重要だと思ったことをメモしたり、理解できないことを積極的に質問したり、声に出し何度も発音している。	◎	○	◎		○	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り
		◎	○	◎		○	
		◎	○	◎		◎	
発音2 (複母音と無気音・有気音) 第1課:「你好」 家族の呼称 中国文化1(食について)	<知識・技能> ・有気音と無気音の発音を聞き分け、発話できる。・自分と周りの人に関する単語を習得する。・中国の食文化について知る。 <思考・判断・表現> ・人称代名詞や判断動詞を使って、自分のこと、周りの人のことを紹介することができる。 <主体的に学習に取り組む態度> ・学習した文法や単語をアレンジし、より多くの人を紹介しようとしている。	◎	○	◎	◎	○	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り
		○	○		◎	○	
		○		○	◎	◎	
第2課:「您贵姓」 国名 “想”	<知識・技能> ・1日の生活に必要な一般動詞を学び身につけている。・主な国、知りたい国を中国語で言える。 <思考・判断・表現> ・学んだ動詞使って、自分の1日の生活を友人に紹介し、友人の1日を聞き取ることができる。・自分の願望を伝えることができる。 <主体的に学習に取り組む態度> ・学習した語句や文法を駆使して、自分の行動や願望を伝えようとしている。	◎	◎	◎		○	口頭発表・活動用ワークシート・振り返り
		○	◎	◎		○	
					◎	◎	

第3課:「邮局」 疑問詞“哪儿” 所在を表す“在” 身近にある建物 文化理解:中国少数民族	<知識・技能> ・身近にある建物や方向を中国語で言える。・中国の少数民族について理解を深めている。	◎	◎	◎		○	□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・動詞“在”を使ってどこに何があるのか、ないのかを伝えることができる。	◎		◎	◎		
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアで協力しながらどこに何があるのか説明するオリジナル会話を作成し、場面が伝わるよう発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第4課 「早上好」 ＋ 中国文化3 (中国の朝ごはん)	<知識・技能> ・中国の朝ごはんでは食べられるものを中国語で言うことができる。・中国の場所で違う地朝ごはんについて理解をする。	○	◎	○	◎	○	□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・連続して起こる動作を表現することができる。・自分の登校スタイルをみんなに伝えることができる。	○	◎	○	◎	○	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・自分がどんな朝ご飯を食べて、どうやって登校しているのかをみんなに伝えようとしている。・わからないことをそのままにしない姿勢がみられる。	○		○	◎	◎	
第5課 「你好吗？」	<知識・技能> ・自分や周りの状況を伝える形容詞を習得している。・語気助詞を使い分けることができる。	○	◎	○		◎	□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・形容詞を使って、自分や身の回りの状況や感じたことを表現することができる。・理解使用と質問する姿勢がみられる。	○	◎	○		◎	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力して、スケジュールを確認しながら、相手を誘うオリジナル会話文を作成し、場面が伝わるよう発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第6課 「几口人？」 いろいろな量詞	<知識・技能> ・人やモノによって量詞の使い分けが違うことを理解する。・モノに対して専用の量詞の使い分けができる。	○	○	○	◎	◎	□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・自分の家族を紹介したり、相手の家族について人数や家族構成を尋ねることができる。	○	○	○	◎	◎	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力して、お互いの家族を紹介するオリジナル会話文を作成し、見ている人に場面が伝わるよう発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第7課:「多少钱？」 中国のお金と日本のお金	<知識・技能> ・中国のお金の単位について理解している。・買い物表現を理解し、やり取りする技能を身に付けている。	○		◎			□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・買い物の場面設定で、買い物客になり指示代名詞を使って、買い物ができる。	○		◎			
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力して買い物の場面のオリジナル会話を作成し、見ている人に場面が伝わるよう発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第8課:「多大？」 対象別年齢の尋ね方 比較の表現	<知識・技能> ・相手によって年齢の訊き方の違いを理解している。・比較の表現を理解し、比較文を作ることができる。	○	○	◎			□頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・相手の家族の年齢を尋ねたり、質問に答えることができる。・モノや人を比べる表現ができる。		○	◎			
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力してお互いの家族の年齢を尋ねるオリジナル会話を作成し、見ている人に状況が伝わるように発表しようとしている。	○		○	◎	◎	

第9課:「打工」 高校生のアルバイト	<知識・技能> ・高校生がよくするアルバイトを中国語で言えるか・反復疑問文の文型を理解し、自分で作ることができる	◎	○	◎			口頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・反復疑問文を使って相手にどうなのかを尋ねることができる。・介詞“在”を使って「～で…する」と表現できる。	◎	○	◎			
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力して、お互いのアルバイトに関するオリジナル会話文を作成し、見ている人に場面が伝わるように発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第10課:「漫画」 趣味について	<知識・技能> ・動態助詞“了”の用法と否定の表現を理解し、使うことができる。	◎	○	○		◎	口頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・過去の自分の行動について“了”を使って表現することができる。	○	◎	○		◎	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力し自分のモノについて説明するオリジナル会話文を作成し、見ている人に場面が伝わるように発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第11課:「換钱」 中国文化理解	<知識・技能> ・為替相場を理解し、日本円と人民元の換金レートを知る。	◎	◎	○		◎	口頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・いろいろな動詞を重ね型を使って「ちょっと～する」と表現することができる。	◎	○	○		◎	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力して銀行に行って換金する場面のオリジナル会話文を作成し、見ている人に場面が伝わるように発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第12課 「感冒」 病院での会話フレーズ	<知識・技能> ・風邪、腹痛等体調不良の様々な症状を中国語を習得している。	◎	○	◎		○	口頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> ・主述述語文を使って、「＝は…が～だ」という表現ができる。・場所詞を学び、どこに何があるかを伝えることができる。	◎	○	◎		○	
	<主体的に学習に取り組む態度> ・ペアと協力しながら、中国で体調不良になった場面のオリジナル会話文を作成し、状況が伝わるように発表しようとしている。	○		○	◎	◎	
第13課:「困了」 中国語検定準4級対策	<知識・技能> 現在完了・受動態・分詞・関係代名詞・関係副詞・仮定法の用法を用いて、概要や要点を捉える技能を身につける。道案内の場面で、	◎	○	○		◎	口頭発表・活動ワークシート・振り返り
	<思考・判断・表現> 現在完了・受動態・分詞・関係代名詞・関係副詞・仮定法の用法を用いて、アンケートメールに答える。道案内の表現を理解し、やり取り		◎	○		◎	
	<主体的に学習に取り組む態度> 現在完了・受動態・分詞・関係代名詞・関係副詞・仮定法の用法を用いて、積極的にアンケートメールに答えようとする。	○		○	◎	◎	

◎の数 15 10 16 20 24 時間数
○の数 24 16 24 0 11

「中国語Ⅱ」シラバス

沖縄県立浦添商業高等学校

教科	科目	学科	学年	単位数	必・選の別	教科書
外国語	中国語Ⅰ	国際観光科	2年	3単位	必修	しゃべっていいとも中国語

科目の目標

○1年次で学習した基本事項をふまえ、更に一步進んだ文章力と会話力を身につけ、自己表現し、相手の意向などを理解したりする実践的コミュニケーション能力を養う。 ○隣国中国の言語や文化に対する関心と理解を深めるとともに、観光関連産業に従事する人材育成を目標とする。 ○中国語検定試験4級（日本中国語検定協会）を目指す。
--

評価の観点と方法

評価の観点	内 容	評 価 方 法
関心・意欲・態度	○中国語に興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。 ○単元毎の問題やプリント、課題等をきちんとこなしている。 ○ファイルやノートがきちんとまとめられている。 ○中国語検定試験取得に向け前向きに取り組んでいる。	・学習意欲及び態度 ・単元毎の問題やプリントへの取り組み ・課題の提出 ・資格試験への取り組み
思考・判断	○ピンインを見て、それぞれきちんと発音できる。 ○学習した文法事項をきちんと使い分けできる。	・中間・期末考査 ・課題やレポートの内容
技能・表現	○中国語の発音をきちんと発することが出来る。 ○学習した語句を使って、伝えたいことが伝えられる ○学習した語句を使って、単文を作ることができる。	・発表 ・小テスト ・中間・期末考査
知識・理解	○学習した内容がきちんと理解できている。 ○中国の歴史・文化・生活習慣について理解していて、簡単に説明できる。	・小テスト ・課題の内容 ・中間・期末考査

授業計画

学期	月	単元名	学習内容	評価方法	評価の観点						
					コミュニケーション への関心意欲態度	表現 の 能力			理解 の 能力		言葉や文化について知識理解
						話す	読む	書く	聞く	読む	
1学期	5～8	*発音学習 *1年次の復習	・中国語の発音に関する事項を復習し、更なる定着を図る。 ・第1課～第14課迄の内容を確認し、一年で学習した内容を確認する。	・ワークシート ・観察	○	◎	○	○	○	○	◎
		第14課 「万里の長城を見学」	・時間の長さの言い方 ・動作行為の完了を表す助詞「了」	・ワークシート ・グループ活動 ・会話発表	○	◎	○	○	○	○	○
		文化理解(1)	・中国の年間行事	・ワークシート	○						◎
		第15課 インターネット・カフェ 第16課 電話かける	・動作の対象を表す前置詞 ・助動詞「できる」 ・動作行為の進行を表す表現 ・助動詞「会」	・ワークシート ・グループ活動 ・会話発表 ・定期テスト	○	◎	○	○	◎	○	○
		中国語検定試験対策	検定範囲で未学習の文法事項を学習する。 ・過去問や予想問題を解くことで、出題内容を把握し対策をたて、検定試験合格を目指す。	・小テスト ・対策プリント ・グループ活動	○	◎	○	○	○	○	○

	5 ～ 8	第17課 アニメを見る	・前置詞「在」 ・二重目的語を取る動詞	・ワークシート ・グループ活動 ・会話発表 ・定期テスト	◎	◎	○	○	○	○	◎
		第18課 レストランで	・経験を表す助詞 ・選択疑問文 ・中国映画の題名について	・ワークシート ・自己評価	◎	○	○	○	○	○	◎
2 学 期	9 ～ 12	第19課 カラオケに行く	・助動詞「得」 ・「一～就」構文	・小テスト ・ワークシート ・グループ活動 ・会話発表	○	◎	○	○	○	○	○
		第20課 おがな 蜀がうまい	・結果補語 ・様態補語								
		文化理解(3)	・中国の高校生の進路について調べてみよう	・ワークシート ・グループ活動	○						◎
		第21課 家族写真	・「是～的」構文	・ワークシート ・定期テスト	○	◎	○	○	○	○	○
		文化理解(4)	・“国慶節”の雰囲気味わってみよう！	・ワークシート ・自己評価	○						◎
		中国語検定試験対策	検定範囲で未学習の文法事項を学習する。 ・過去問や予想問題を解くことで、出題内容を把握し対策をたて、検定試験合格を目指す。	・小テスト ・対策プリント ・グループ活動	○	○	○	○	○	○	◎
		第22課 シャツを買う	・方向補語①単純方向補語 ・二つの少し	・小テスト ・ワークシート ・グループ活動 ・定期テスト	○	○	○	◎	◎	○	○
3 学 期	1 ～ 3	第23課 誕生パーティー	・「～をする」構文 ・方向補語②複合方向補語								
		第24課 DVDを見る	・程度補語 ・可能補語	・小テスト ・ワークシート ・グループ活動 ・会話発表 ・定期テスト	○	○	◎	○	◎	○	○
		第25課 診察を受ける	・主述述語文 ・受け身表現								
		第26課 帰国前	・「まもなく～だ」 ・使役表現								
		文化理解(5)	・“春節”の雰囲気をビデオで味わってみよう！！	・ワークシート ・グループ活動 ・発表 ・自己評価	○						◎
		文化理解(6)	・中国の少数民族について理解する								
		ビジネス会話	・接客業で使える簡単中国語会話	・ワークシート ・グループ活動	◎	◎	○	○	○	○	○
		文化理解(7)	・中国の歌を覚えよう！	・ワークシート ・自己評価		○					○

令和5年度【中国語Ⅲ】シラバス

検印	校長	教 頭	

科目名	対象学科・学年	単位数	履修	教科担当者氏名 印
中国語Ⅲ	国際観光科・3年	3単位	コース選択	城間 真理子 印

1. 【外国語科】の目標

- ① 言語や文化に対する関心を高めると共に、国際理解を深め国際社会においても活躍できる有能な人材の育成を図る。
- ② 外国語の学習をより深め、積極的に表現する能力を一層高める。

2. 【中国語Ⅲ】の目標

- ① 1・2年次で学習した内容をふまえ、自分が伝えたいことを中国語で伝える力を身につける。
- ② 調べ学習を通して、中国及び中国語圏の文化を理解する。
- ③ 中国語検定4級～3級の取得を目指す。

3. 【中国語Ⅲ】の概要

- (1) 中国語の運用能力を高める
 - ア 1・2年で既習のことと3年次に学習する内容を使って口頭で表現ができる
 - イ 1・2年で既習のことと3年次に学習する内容を使い記述で表現ができる
- (2) 授業中は中国語を聞き中国語で表現することを心掛ける
 - ア. 手本となる中国語のフレーズを聞き真似て発話する。(反復練習)
 - イ. チューンドリルで学習した表現の定着を図る
 - ウ. ペアワークで本文の内容を参考に、オリジナルの会話文を作成し発表する
 - エ. 教科書や別教材のドリルを利用し書く力をつける
- (2) 中国及び中国文化圏の文化を理解する
 - ア. 調べ学習を通して中国の文化に対する理解を深める
 - イ. 世界の中国語文化圏についても理解する

4. 評価の観点

- ① 関心・意欲・態度
 - i 中国語に興味関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいるか
 - ii 单元ごとのプリント、課題等をきちんとこなしているか
 - iii ファイルやノートがきちんとまとめられているか
- ② 判断・思考
 - i 伝えたいことをこれまで学習したことを駆使し、伝えることができるか
 - ii 場面状況に応じて、学習したことの使い分けができているか
- ③ 技能・表現
 - i 学習した語句や文法を使い伝えたいことを言葉にして伝えられるか
 - ii 学習した語句・文法を使い、自分の伝えたいことを書き表すことができるか
- ③ 知識・理解
 - i 学習した内容がきちんと理解できているか
 - ii 中国及び中国語圏のそれと比較し違いを理解できているか

5. 成績評価の方法

※年間を通じて、下記の①～④の内容を総合的に勘案し、評価します。

- ① 定期考査（中間）・期末）・・・ 60%
- ② 小テスト（単語テスト・まとめドリル）・・・ 20%
- ③ 提出物（課題・宿題・ノート）・・・ 10%
- ④ 学習意欲及び態度（取り組み・発表）・・・ 10%

6. 使用教材

- ①教科書名（会社名）：仲間と話そう中国語（朝日出版）、※高校生からの中国語（白帝社）※1年次に未学習の後半部分
- ②副教材（会社名）：特になし。 ※各課ごとにオリジナルプリントを作成し配布

7. 履修上の注意

- ① 授業中は失敗を恐れず、積極的に発言するよう心がける。
- ② 授業中は出来るだけ多く中国語を聞き、できるだけ中国語で表現することを心がける。
- ③ 授業中理解できない内容が出てきたら、すぐに質問するよう心がける。

8. 授業進度予定表

学期	月	単元	指導内容・指導項目等	重点指導目標	重点指導目標	評価の観点
1 学期		オリエンテーション	0. 中国語の授業の進め方を理解する 1. 1～2年次の復習（リスニング） ※聞き取って応える力の確認	・中国語の授業の進め方を理解する ・1～2年次で身に付けていて欲しい部分を、ALT の中国語の質問に応えることができる	授業態度 発問評価	教科書 がイタズ用プリント
	4	第1課 「认识一下好吗?」	1. “正在…呢。”の表現 2. いろいろな動詞の学習 3. いろいろな目的語の学習 4. “我想当…”の表現 5. いろいろな職業について ※(会話・発表)買い物	・今進行中の事を表現することができる。 ・現在進行形でよく使われる動詞を学習する。 ・上の動詞とセットで使われる目的語を学習する。 ・将来の目標や夢を伝える事ができる。 ・身の回りにある職業について表現できる。 ・本課の学習内容をふまえて会話文を作り発表できる。	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	5	第2課 「想去的很多地方」 第3課 「好久不见」	1. 介詞“给” 2. 複文“出了A，还（也）B” 3. 動詞“打算” 4. 反語文“不是…吗？” 5. “连A都（也）B” ※(会話発表)お互いの行きたい所 1. 動態助詞“了” 2. 複文“一边A，一边B” 3. 様態補語 4. 使役文 5. 二重目的語 ※(会話発表)久しぶりの再会	・添加関係を表すことができる ・予定を表すことができる ・反語の形で強く肯定することができる ・極端な例を挙げて強調することができる ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる ・動作や行為の完了を表すことができる ・同時に2つの動作をすることを表すことができる ・様態補語は動作、行為の様態や程度を表すことができる ・「～に…させる」という表現ができる ・二重目的語を使った表現ができる ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	6	第4課 「让爱子去旅行」 第5課 「外国人都喜欢吃」	1. 複文“因为A,所以B” 2. 複文“一边A，一边B” 3. 様態補語 4. 使役文 5. 二重目的語 ※(会話発表)久しぶりの再会 1. 複文“先A，然后B” 2. 複文“A是A，不过B” 3. 可能補語	・原因や理由を述べ、その結果を表すことができる。 ・同時に2つの動作をすることを表すことができる ・様態補語は動作、行為の様態や程度を表すことができる ・「～に…させる」という表現ができる ・「～に…する」という表現ができる ・既に実現した事について詳しく説明できる ・行動を優先順位ごとに並べて言うことができる。 ・「～だが、しかし…」という表現ができる。 ・動作が実現可能かどうかを表現することができる。	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	7	第6課 「今天我请客」	4. 複文“不管A，都B” 5. 複文“既A，又B” ※(会話発表)旅行先で 1. 複文“不但A，而且B” 2. 複文“要么A，要么B” 3. “提议”の使い方 4. 語気助詞“了” 5. 結果補語 ※(会話発表)友人にご馳走する	・「～であろうとなかろうと…」の表現ができる。 ・「～でもあり…でもある」の表現ができる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる。 ・「～するか、または…する」の表現ができる。 ・“提议”の使い方を理解し、表現できるようにする。 ・語気助詞“了”を使った表現ができる。 ・結果補語を使い、動作等によって生じた結果を表すことができる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる。	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	9	第7課 「我们的梦想」 第8課 「有一个愿望」	1. 介詞“作为” 2. “想好了”と“还没想好” 3. 禁止を表す“别”と“不要” 4. 動態助詞“着” 5. 複文“虽然A，但是B” ※(会話発表)夢を語る 1. 挿入語“据说”と“听说” 2. 複文“只要A，就B” 3. 複合方向補語“出来” 4. 複文“不仅A，还B” 5. 謙語文 ※(会話発表)願いを語る	・「～として…する。」の表現ができる。 ・「ちゃんとよく考えたまだよく考えていない」の表現ができる。 ・“別”と“不要”を使って禁止の表現ができる。 ・状態の持続の表現ができる。 ・複文“虽然A，但是B” ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる ・人から聞いた話を別の人に伝える事ができる。 ・複文“只要A，就B”を使って表現できる。 ・方向補語“出来”を使って表現することができる。 ・複文“不仅A，还B”を使って表現することができる。 ・謙語文の仕組みを知れ、それを使って表現できる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	10	第9課 「谈谈个人问题」	1. 介詞“向” 2. 助動詞“可以”と“能” 3. 比較文“A比B～” 4. 複文“即使A，也B” 5. 時量補語 ※(会話発表)プライベートな話題	・介詞“向”を使って表現することができる。 ・助動詞“可以”と“能”を使い分けて表現できる。 ・比較の表現ができる。 ・複文“即使A，也B”を使って表現できる。 ・動作の長さを表現できる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
2 学期	11	第10課 「联系方法」 第11課 「欢聚北京」	1. “快～了” 2. 助動詞“得” 3. “把”構文 4. 副詞“就”と“才” 5. 複文“一A，就B” ※(会話発表)次の計画を立てる為の連絡方法 1. “越来越～” 2. 動作の進行を表す“在” 3. 構造助詞“地～”	・近い未来に発生することを表現できる。 ・助動詞“得”を使って表現することができる。 ・“把”構文の仕組みをしり、それを使って表現できる。 ・副詞“就”と“才”の使い分けができる。 ・複文“一A，就B”を使った表現ができる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる ・“越来越～”を使った表現をできる。 ・現在進行形の文を使った表現ができる。 ・構造助詞“地～”を使った表現ができる。	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
	12	第8課 「有一个愿望」	1. 挿入語“据说”と“听说” 2. 複文“只要A，就B” 3. 複合方向補語“出来” 4. 複文“不仅A，还B” 5. 謙語文 ※(会話発表)願いを語る	・人から聞いた話を別の人に伝える事ができる。 ・複文“只要A，就B”を使って表現できる。 ・方向補語“出来”を使って表現することができる。 ・複文“不仅A，还B”を使って表現することができる。 ・謙語文の仕組みを知れ、それを使って表現できる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
		第12課 「请到我家做客」 調べ学習	4. 動態助詞“过” 5. 受け身文“被” ※(会話発表)久しぶりの再会 1. 介詞“跟” 2. 副詞“再”と“又” 3. 複文“既然A，（就）B” 4. 介詞“离” 5. “有点儿”と“一点儿” ※(会話発表)友人を家に招待する	・過去の経験を表すことができる。 ・受け身文の表現ができる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる ・介詞“跟”を使って表現することができる。 ・副詞“再”と“又”の使い分けができる ・複文“既然A，（就）B”を使った表現ができる。 ・介詞“离”を使って2点間の距離や時間の隔たりを表現できる。 ・“有点儿”と“一点儿”の使い分けができる。 ・既習表現を使いオリジナルの対話を作り、発表できる ・中国語や中国について気になったことを調べ、発表する。	授業態度 発問評価 小テスト 会話スクリプト 発表	PPT 教科書 補足プリント 会話スクリプト
3 学期						